



あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する

法文学部 教授 宮本 恭子

近年、健康の社会的決定要因の概念も普及してきています。松江市内の病院、島根大学医学部医学科の学生、宮本研究室が連携し、「病院からはじまるまちづくりプロジェクト」を展開しています。地域住民の健康、暮らしを守るために、これまでのように病院に受診した患者の疾患という結果にだけ目を向けるのではなく、地域住民の社会的困難さが集約され目に見える形で現れやすい病院において、受診抑制、手遅れ事例など不健康な状況を作りだす社会的要因の把握と分析を行い、行政との連携の構築をめざし調査を実施しています。調査結果は、行政に提示し、地域住民の健康と暮らしを守るための政策提言の成果につなげています。

また、離島地域に住む高齢者が、住みなれた島で最期まで暮らし続けるための福祉基盤についての調査も行っています。結果は、離島地域をはじめとする条件不利地域での福祉基盤体制の構築につながっています。島で最期まで暮らし続けるための体制づくりは、高齢者の島外への転出抑制という、人口動態にも大きく貢献しています。

病院からはじまる まちづくり研究 キックオフ集会

2018年
2月15日(木) 17:50~19:00
松江生協病院 南別館2階 大研修室

タイムスケジュール

- 17:50~18:15 「病院からはじまるまちづくり研究」概要紹介
- 18:15~19:00 「救急搬入から入院となった患者様へのアンケート調査」説明

松江市は、病気になることで大きな心配を抱えているのでしょうか？
ない、なっていないとすれば、それだけで済みます。どうすればいいのでしょうか？
私たちも、そういう思いから、「病院からはじまるまちづくり」という研究プロジェクトを立ち上げました。結果のめあちは、松江生協病院に救急搬送され、入院となった患者様の声を聞き、救急搬入へのアクセスを向上している施設を分析しようと考えています。
本研究には東洋道徳学生をはじめ島根大学医学部学生、島根大学法文学部教員にも協力調査を進めています。
特に東洋道徳学生は、経験自分たちが働くことになる病院や地域のことを知りたくて、主体的に学習を行うなど、研究への貢献を怠りません。
結果の報告と一緒に調査・研究したい方などにも来て頂きます。
是非キックオフ集会にご参加ください！(病院からはじまるまちづくり 一冊)

参加申込み
お問い合わせ

松江生協病院 事務長室 (内線7364) 古川まで

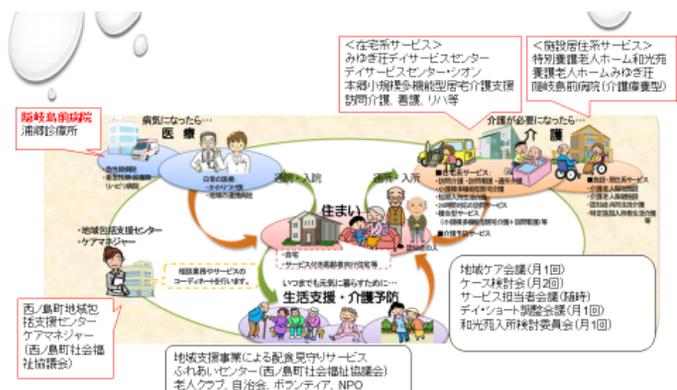


図5 西ノ島町地域包括ケアシステム
(出所) 西ノ島町社会福祉協議会「平成27年地域福祉計画地域福祉活動計画」をもとに作成

「顔の見える連携」 → 医療供給体制の維持が不可欠